

おさかな瓦版 No.90 漁港

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2024-03-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 水産研究・教育機構 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2001525">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2001525</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.





# おさかなかわばん瓦版

No. 90  
2019.7

シリーズ：さかなと道具・しせつ 第2回

## ぎょ こう 漁港



ふーちゃんのトピックス

いっばんこうかい  
一般公開するよ！ 遊びに来てね！

# 漁港

～水産業を支える総合施設～

日本を取り囲む海岸線は約35,000キロメートルです。そこには約2,800の漁港と約1,000の港湾があります。漁港と港湾は、それぞれ漁港漁場整備法、港湾法という法律にもとづいて整備され、維持・管理されています。漁港は漁船が利用する港、港湾は貨物船やタンカーなどが利用する港というイメージですが、人々や物資を輸送するフェリーやプレジャーボート、水産庁の漁業取締船、海上



📷 1 地元漁船が利用する小規模な漁港 (防風フェンス付き)

保安庁の巡視船などが利用している漁港もあります。

漁港には、全国の漁師さん(漁業関係者)が利用する大きな漁港から、もっぱら地元の漁師さんが利用する小さな漁港(📷 1)まで、さまざまな規模のものがあります。現在、水揚げ量が一番多いのは千葉県にある銚子漁港で、8年連続日本一を記録しています。

漁港はどのように使われているのでしょうか？ まず漁に出る前には、漁船の燃料や漁具、獲れた魚を冷やすための氷などを、「岸壁」にロープでつながれた(係留された)漁船に積み込みます。漁を終えて漁船が戻ってくると再び岸壁に係留し、漁船から漁獲物を陸揚げします。それを魚を選別する施設(荷さばき所)に運び入れます。その後、市場でセリが行われたり、水産加工場や水産倉庫に運

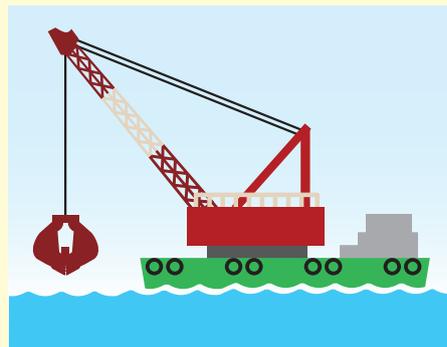


あんじいの  
クイズポイント  
アポイント

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## 漁港は砂との闘い？

漁港は河口や砂浜に作られることが多いのじゃ。そのため、波や流れによって運ばれる砂が漁港内にたまって水深が浅くなり、漁船の出入りができなくなることがあるのじゃ。そこで、たまった砂を機械で取り除くほか、砂がたまりにくい形に漁港を設計しておく。砂を制御する技術の開発は今も続いているのじゃ。



たまった砂を取り除く作業



製氷施設で作られた氷を  
運搬車に積み込むようす



衛生管理が行われている荷さばき所  
(産地卸売市場)



衛生管理が行われている漁港の陸揚げ岸壁



漁獲した魚を漁船から  
トラックに移しているようす



ばれたりします( )。

高波や強風で出漁できないとき、次の出漁まで漁師さんが休みをとる場合にも漁船を岸壁に係留します。タンカーなどの大型船と違って、漁船は小さな波でも大きく揺れます。このため、台風などで高波が寄せてくるときでも漁船を安全に係留できるように、「防波堤」や「消波ブロック」などを設置して、漁港の中を穏やかに保っています( )。

漁港の陸側には漁村の集落があるので、高波・高潮・津波が押し寄せてきた際に、漁村の人命・財産を守る必要があります。とくに高潮・津波に対しては、漁港の陸側に「防潮

2 漁港内が穏やかで漁船が安全に係留できるようす

堤」を設置して守っています。水産研究・教育機構は、東日本大震災以降、漁港・漁村での津波の被害を減らすため、防波堤や防潮堤の改良に関する研究を行ってきました。

このように、漁港は消費者に水産物を安定して届ける地域の水産業の拠点であり、漁村を守る役割を持つ重要な総合施設でもあります。

(大村 智宏)





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

あそびにきてね!



# 一般公開するよ! 遊びに来てね!

水産研究・教育機構では毎年、研究所を一般公開しています。研究所ってどんなところ? 研究者ってどんな仕事をしているのかな? 研究施設の見学や、タッチプールやいろいろな体験コーナーもありますよ。親子で魚のことを楽しく勉強できます。ぜひ遊びに来てね。

くわしくは水産研究・教育機構ウェブサイトをご覧ください。

10月以降の一般公開の予定は次号でお知らせします。



## 一般公開のスケジュール

7月26日(金)

日本海区水産研究所 宮津庁舎 (京都府宮津市)

ウェブサイト ▶ <http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

7月27日(土)

増養殖研究所 南勢庁舎 (三重県度会郡南伊勢町)

ウェブサイト ▶ <http://nria.fra.affrc.go.jp/>

### 一般公開のようす



ふーちゃん と



ふつくん: あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.90 (2019年7月発行)

編集・発行: 国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報課

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702  
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。〈聞きたいことの内容〉、〈学年〉、〈住所〉、〈名前〉を忘れずに書いてね。ふつくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



鹿児島県薄井漁港



水産庁の主唱する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。